

平成 24 年度 第 1 回 遠江国分寺跡整備委員会 議事要録

1. 日 時 平成 25 年 3 月 19 日 (火) 15:00~16:40
2. 会議場所 磐田市役所西庁舎 301・302 会議室
3. 出席者 整備委員: 10 名
助 言: 静岡県教育委員会文化財保護課職員 1 名
事務局: 教育長、教育委員会事務局長、文化財課職員 4 名
傍 聴 者: なし

4. 会議要旨

- (1) 開 会
- (2) 磐田市教育長あいさつ
- (3) 整備委員会委員長あいさつ
- (4) 静岡県教育委員会あいさつ
- (5) 議 事

〔議事 1〕平成 24 年度事業について (事務局報告)

特別史跡指定地の公有化

宗教法人所有の境内地及び個人所有の宅地の 2 箇所 計 621.26 m²

発掘調査及び整理作業

- ・築地堀跡 62 m²を発掘調査 (8 月~10 月 10 月 14 日に現地説明会 参加者 100 名)
- ・発掘調査概報印刷 (「発掘調査のあらまし」)
- ・出土品整理作業 (注記・接合・復元等)
- ・金属製品保存処理 (鉄釘等 20 点)
- ・炭化材等の分析

その他 社会科副読本「遠江国分寺」を印刷し、4 月に新中学 1 年生に配布。

(2) 平成 25 年度事業予定について (事務局説明)

特別史跡指定地の公有化

個人所有の宅地 586.54 m²を買上げ予定

発掘調査及び整理作業

- ・築地堀跡 (東築地及び東門推定地) を発掘調査予定
- ・発掘調査概報印刷 (「発掘調査のあらまし」)
- ・出土品整理作業 (注記・接合・復元・実測等)
- ・金属製品保存処理 (鉄釘等)

その他 前年と同様に社会科副読本「遠江国分寺」を印刷する。

(3) 再整備の概要 (案) について

事務局から資料 6~8 及び写真 (パワーポイント) を使って概要案を説明した。

整備のコンセプト

遠江国分寺の特徴を活かし、広大な古代寺院の広がりを感じられる整備

- ・主要な建物の基壇 (土台部分) がすべて「木装基壇」(全国の遺跡でここだけ)
- ・全国で唯一木製の柱をもつ燈籠跡が確認されるなど、木を多用している

市街地にある都市公園であること、また市役所に隣接していることを活かした整備
市民が憩い、活用できる場としての整備

主な整備内容

- ・ 主な建物の基壇（土台部分）を「木装基壇」として復元・表示する
- ・ 基壇がわからない中門や南大門は土盛りで表現する
- ・ 塔の礎石を復元、基壇上面に磚（古代のレンガ状の焼き物）を敷く
- ・ 塔の木製階段を復元する
- ・ 金堂も建物範囲は磚を敷く。また、石段は盛土上に復元する
- ・ 回廊も建物部分は磚敷きにする
- ・ 木製燈籠を復元する
- ・ 東門想定地の発掘調査を行い、門の復元を検討する（発掘調査結果による）
- ・ 遺構に影響を与えている樹木や景観を妨げている樹木は伐採または整理する
- ・ 花壇を整理する。また、万葉の植物縁園や薬草園を検討する
- ・ 本庁舎に展望室を設けることを検討する
- ・ 休憩施設として、掘立柱風建物の四阿をととして設置することを検討する
- ・ 排水対策、歩道設置（車イス対応）

ほか

〔質疑応答・意見等〕

委員 遺構に影響を与えている樹木の伐採はどこまでやるのか？

事務局 地表面に近いところで伐採し、根を腐らせるような方法をとりたい。

委員 遺構を壊しているものは対処しないといけませんが、景観的なこともあるので、一本一本について議論が必要である。処理にも時間がかかるので必要最低限にしないといけないと思う。

委員 整備を木装基壇とした経緯、整備のメニュー、塔の復元については？

事務局 確認できた建物の基壇がいずれも木装基壇というのは、全国でもここだけである。整備のメニューは、いくつかやり方があるので整備内容とともに今後検討していく。塔については、前回の委員会で話したように、復元設計が困難であることと、現地に造ろうとすると下の遺構を壊すことになるので整備計画には入れていない。

委員 平城宮の大極殿は、遺構の残りは悪かったが、恭仁宮に移設していたことから正確な間取りがわかったうえに、盛土の中に免震装置を組み込むことができ、地震にも耐える構造にすることができた。

委員 展望室を検討するのは西庁舎か？

事務局 本庁舎から全体が見えるので、本庁舎に設置することを検討したい。

委員 資料館があったら遺跡や出土品が具体的にわかる。見通しは？

事務局 用地を含めて現段階では具体的に示すことはできない。できない場合でも写真や図等で解説ができるような場所が設けられたらと思う。

委員 土地の買上げをしているが、全部買い上げることができるか？

事務局 現在の指定地の公有化率は90%弱である。国分寺の伽藍地は四角なので、未指定の場所に住んでいる方に追加指定・買上げの声掛けはしていくが、全部が指定されて買い上げるとするのはまだまだ先になる。

委員 再整備の概要ということで、委員にはある程度納得していただいたのか

もしれない。基本計画についての話は、来年出るのか？

事務局 基本構想は作ったが、基本計画はこれからになる。しかし、整備を行うにはもう少し追加調査という形で遠江国分寺の実態を明らかにしたうえで基本計画の策定へつなげていきたい。

委員 基本計画の具体的な話は東門の調査が終わってからか、ほかにも調査が必要か？

事務局 僧房の実態や中門・南大門、付属施設についてもまだわかっていないという部分があるので、専門委員会でここまでは、というご意見をいただきながら考えていきたい。

委員 国分寺まつりに参加して国分寺を知った。資料館をつくるにしても見に来てくれる人がいないと役に立たない。年3回ある軽トラ市には1万人来るのに国分寺のPRがないから寄ってくれない。1割の人が興味をもてば1,000人見に来ることになる。軽トラ市で国分寺を案内するところがあれば見に来る人は必ずあると思う。

委員 梅はどの程度整理するのか？

事務局 南大門からある程度全体が見渡せるくらいの雰囲気になりたい。しかし、梅を楽しみにしている方もいるので、その兼ね合いが難しい。

委員 具体的に梅はこのくらい整理します、という案を示して議論した方がよい。

委員 奈良県橿原市の藤原宮跡では、休耕田がたくさんあるので、菜の花や蓮、コスモスなどが植えられていて、花は集客力がある。その人たちが宮跡に寄ってもらえれば知名度があがると感じている。

事務局 今日の意見をこれからの基本計画に組み込んでいきたい。